

早稲田商学第 469 号  
2025 年 9 月

## 消 息

### 坂野友昭先生のご定年退職にあたって

坂野友昭先生はめでたく古稀を迎えられ、早稲田大学の定めにしたがって、本年 3 月末日をもって退職されました。また、研究教育両面における永年の功績に対して、4 月 1 日付で名誉教授の称号が贈呈されました。先生のご退職にあたり、学部を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

坂野先生は 1955 年 3 月生まれで、1977 年 3 月早稲田大学商学部を卒業され、当時、商学部における専任教員養成を目的として設けられていた「特別奨学生」に推薦され、大学院商学研究科修士課程へと進学されました。学部においては西澤脩先生のゼミで管理会計を、大学院においては鈴木英壽先生のゼミで経営学を学ばれました。1979 年 4 月には引き続き同研究科博士後期課程に進まれ、1982 年 9 月から 1985 年 6 月までブリティッシュ・コロンビア大学商経営学部博士後期課程で学ばれました。

この間、1980 年 4 月に早稲田大学商学部助手に嘱任され、1986 年 4 月に専任講師、1988 年 4 月に助教授、1993 年 4 月に教授（改組により 2004 年 9 月から商学学術院教授）へと昇任されました。助手に嘱任されて以降、45 年の永きにわたって早稲田において研究と教育の時間を過ごされました。

先生は、経営学の中でも経営戦略論の研究において多くの業績を残されました。多数の著書や論文を執筆され、旺盛な研究生活を送られてきましたが、特筆すべきは、企業間の戦略的提携や国際ビジネスの領域において、論文が海外のトップジャーナルに掲載されたことであり、このことを以ってして先生の研究力の高さを物語ることができます。現在、商学部（あるいは商学学術院）の経営学分野における研究力は国内トップレベルに位置していますが、先生がその礎を築かれたといっても過言ではありません。また、実業界や産業界とのつながりも深く、「学理と実際」を重んじる商学部の伝統や学風を継承され、忠実に実践されてきたということもできます。2019 年 10 月から 2022 年 9 月に掛けて日本経営学会常任理事（2022 年 10 月から 2025 年 9 月に掛けて同学会

理事), 2007年10月から2015年9月に掛けて国際ビジネス研究会常任理事(2016年10月から2024年9月に掛けて同学会理事), 2018年4月から2025年3月に掛けてパーソナルファイナンス学会会長をお務めになり, 学界において指導的な立場に立たれました。坂野先生の教育・研究上の功績について詳細な紹介は山野井順一先生による消息をご参照ください。

校内においては, 横田信武大学院商学研究科委員長のもとで教務委員(2000年9月から2002年9月まで), 嶋村和恵学部長のもとで教務担当教務主任(2012年9月から2014年9月), 引き続き大学院商学研究科長(2014年9月から2016年9月)をお務めになりました。教務委員あるいは教務主任として横田先生や嶋村先生を支えられ, 他方, お二人の先生からの信任はとても厚いものでした。教務主任在任中は大学のグローバル化が推進され始めた時期と重なり, 教務副主任の矢後和彦先生とともに学部教育のグローバル化に取り組みました。いくつかの施策には留学などを通じた先生のご経験が生かされました。また, 商学研究科からビジネススクール(経営管理研究科)が独立し, 学術院内に併存する研究型大学院(商学研究科)と専門職大学院(会計研究科, 経営管理研究科, ファイナンス研究科)のあり方が議論されていた激動の時期に商学研究科長の重責を担われました。心労が多かったものと推察されますが, 教務主任の片岡孝夫先生とともに持ち前の明るさで2年間を乗り切られたという印象を持っています。

私は1985年4月に商学部に入學し, 2年生のときに鈴木英壽先生の「経営学原理」を履修しました。当時, 授業は7号館2階の教室で行われていましたが, 毎回, 授業が終わる頃合いを見計らうように廊下に立っている方がいました。それが専任講師になりたての坂野先生でした。私が教員になってからその話をすると, 授業後に鈴木先生と銀座まで昼食に出かけていたとのことでした。のんびりとした旧き良き時代の大学の光景とすることができるといえるでしょう。先生とは幾多の場面で同席することがあり, そのたびに楽しい話をうかがいました。先生は明るく鷹揚な方で, 周りにいる多くの人びとを惹きつけました。学生からの人気の高さも同様の理由であろうと思います。後輩の我々だけでなく, 先輩の先生方も先生を頼りにされていました。先見の明があるのですが, みずから「こうしたほうがいい」と発することはされないものの, こちらが相談したときには必ず示唆に富むコメントをくださいました。これまでどれだけ先生に助けていただいたかを思い起こしています。

ご退職後も先生の研究はさらに深化するものと思われます。古稀とは思えないほど若々しい先生ですが、今後ともご健康に留意され、お元気に過ごされることを祈念いたします。先生の早稲田大学とりわけ商学部に対する多大なご貢献に心から感謝を申し上げます。

坂野先生、長きにわたり、ありがとうございました。

早稲田大学商学部長  
早稲田商学同攻会長  
横山 将義